

## 【英語】

### 授業支援機能を活用し、文法（話法）の理解を深める

単元の「聞く」「話す」「読む」の学習後、文法のうち「話法」を重点的に扱った授業

#### 【本授業の目的・狙い・到達目標】

ClassPad.net を活用することで、間接話法に関する注意点の効率的な指導や、生徒同士の学び合いによる理解を深める。（単元：Unit9 Produce locally, consume locally.）

#### 【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・活字を使ったビジュアル化が容易。穴埋め問題では、キーボードを使って取り組むことで、単にノートや紙に記述するときとは違った感触で単語に慣れ親しむことができる。
- ・並べ替え問題でも、教員の教材準備時間が短縮されるだけでなく、生徒が「活字を画面上で動かす」ことで、普段読んでいる文章がどういう構造になっているのか、想起しやすい。

#### Step1



#### 作成・実施の流れ

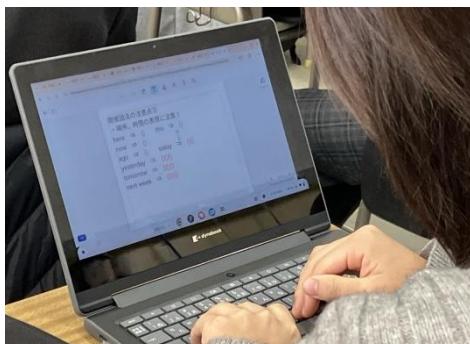
#### ClassPad.net での操作

#### 前時の確認

デジタル教科書の画面をプロジェクタに投影し “If you had much money, what would you buy?” をテーマにペアで話し合う。

机間指導で生徒が曖昧な単語等をフォローする。

#### Step2



#### 間接話法の注意点（時制の一致）に関する問題に取り組む

穴埋め問題に取り組む。

穴埋め問題をふせんで一斉送信。

## Step3



### 問題解説と演習

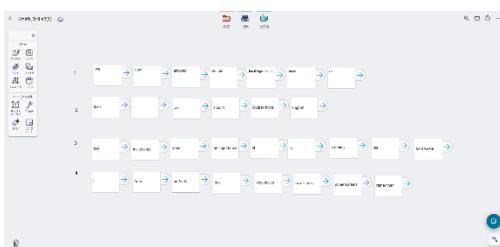
配布した問題の解答・解説をする。

内容理解を確認するため、クイズアプリを使用して文法に関する4択クイズを行う。

解答したふせんを提出させ、プロジェクトに投影。

※課題の配付・回収・解説を速やかにできるのがポイントです。

## Step4



### 教科書の Drills2 (単語を並べ替えて文章にする問題) にグループで取り組む

生徒は、グループで単語を並べ替え、英文を作成する。

教師は、動きが止まっているグループをフォローする。

単語が書かれたふせんをランダムに配置したノートを事前に作成。

生徒を3~4人×10グループに分け、グループワークに参加させる。

ClassPad.net上で各グループの進捗を確認する。

※端末上で各グループの進捗を瞬時に確認できるのがポイントです。

## Step5



### まとめ

本時の振り返りと次回の内容について説明する。